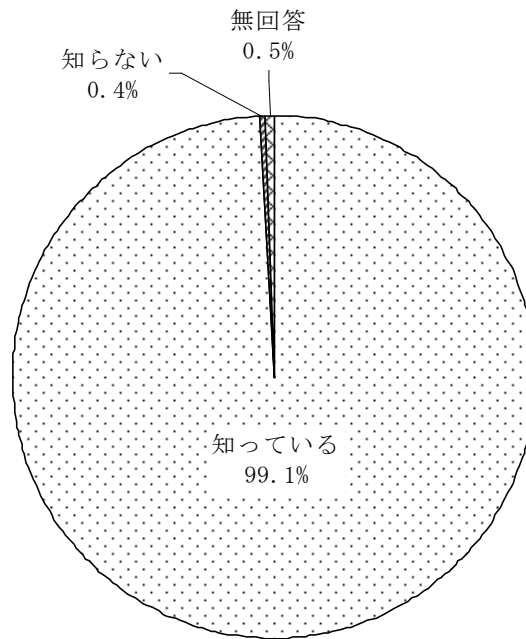


## 2. ひきこもりについて

### (1) 「ひきこもり」という言葉の認知状況

問12 以下の(1)～(3)についてあなたをご存じですか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 「ひきこもり」という言葉を知っていますか。



全 体  
(n=1590)

#### 【全体結果】

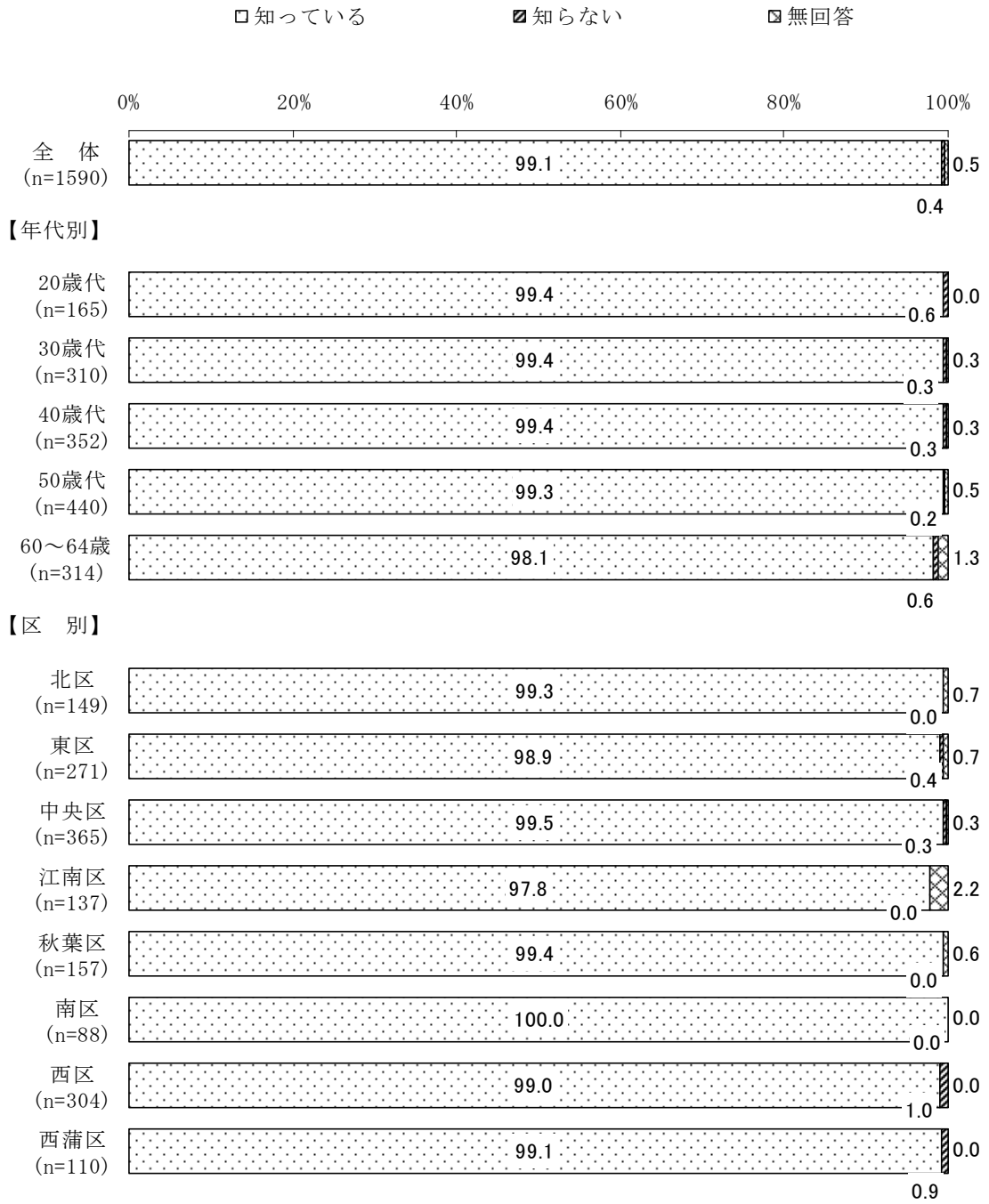
「ひきこもり」という言葉について、ほぼ全員(99.1%)が「知っている」と回答している。

#### 【年代別結果】

年代別に差はみられない。

#### 【区別結果】

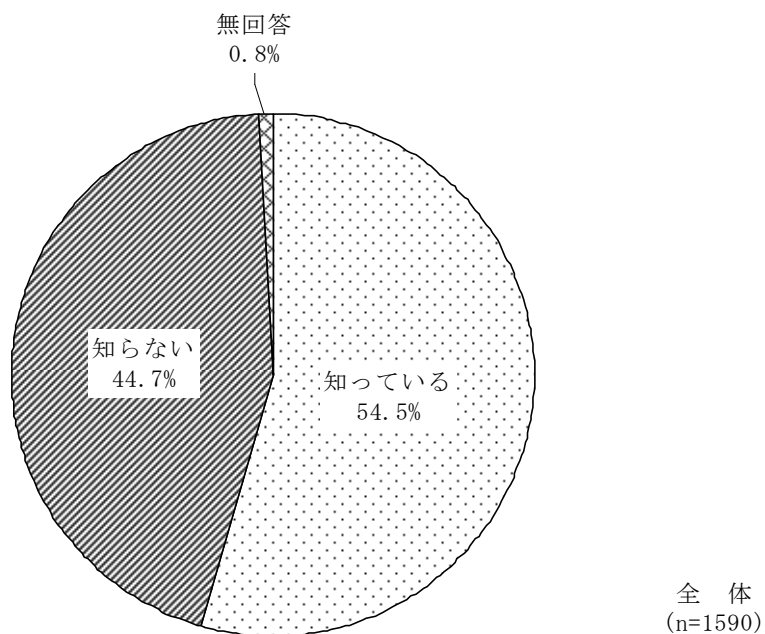
区別に差はみられない。



## (2) 「ひきこもり」の定義の認知状況

問12 以下の(1)～(3)についてあなたのご存じですか。(○はそれぞれ1つ)

(2) 「ひきこもり」とは「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」のことであるということをご存知ですか。



### 【全体結果】

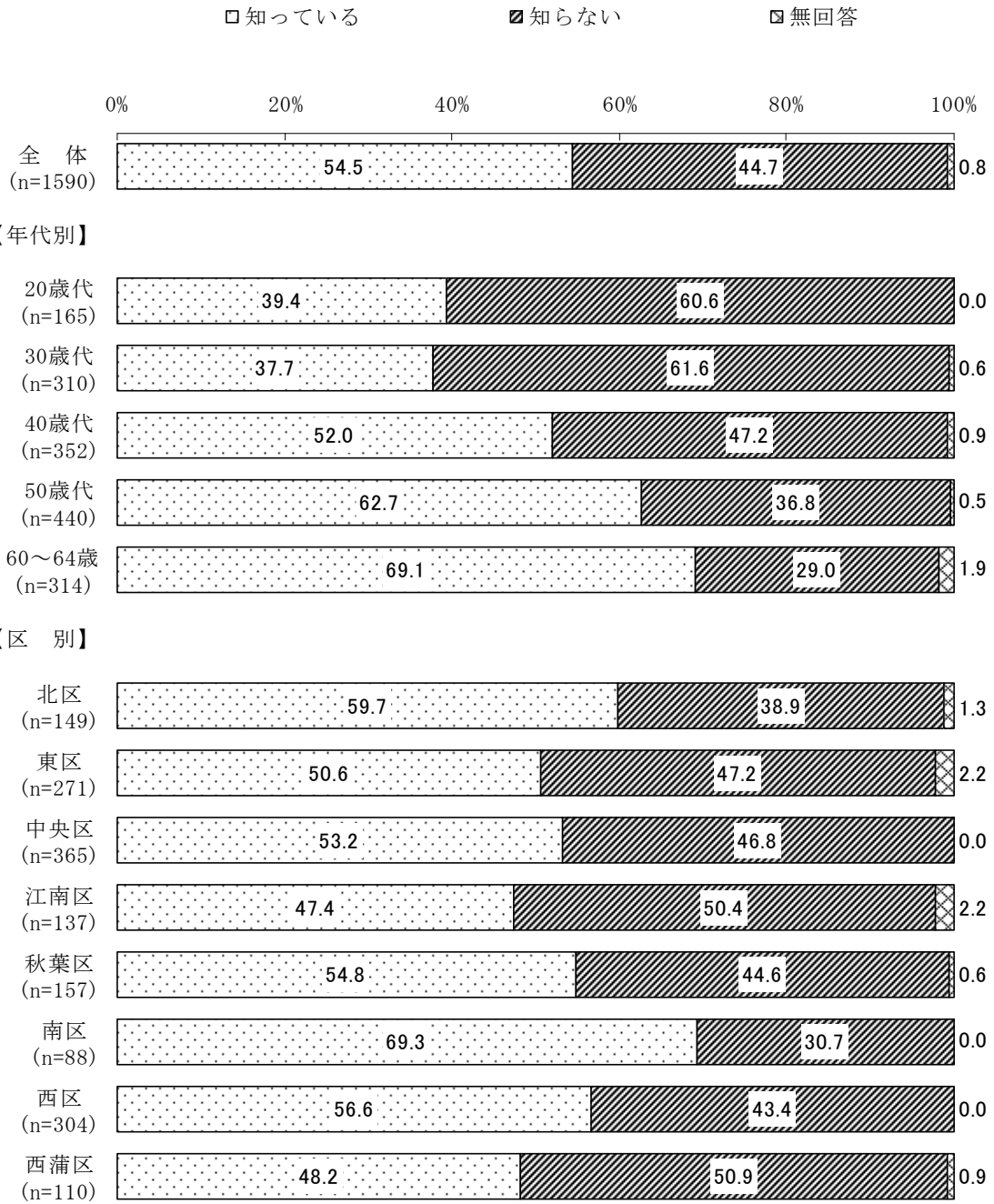
「ひきこもり」の定義については、「知っている」が半数強(54.5%)を占め、「知らない」(44.7%)を上回る。

### 【年代別結果】

年代が高いほど「知っている」の回答率が高く、「知らない」が低い傾向がみられる。

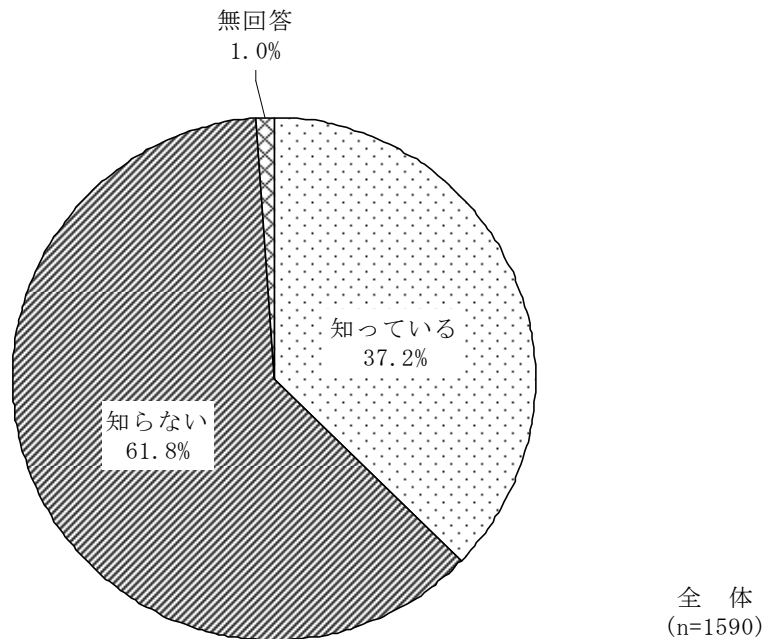
### 【区別結果】

江南区と西蒲区では他の区と異なり、「知らない」が「知っている」をわずかに上回る。



### (3) 「ひきこもり」の範囲の認知状況

問12 以下の(1)～(3)についてあなたのご存じですか。(○はそれぞれ1つ)  
(3) 上記(2)の状態、「時々は買い物などで外出することもある」という場合も「ひきこもり」に含めるということをご存知ですか。



#### 【全体結果】

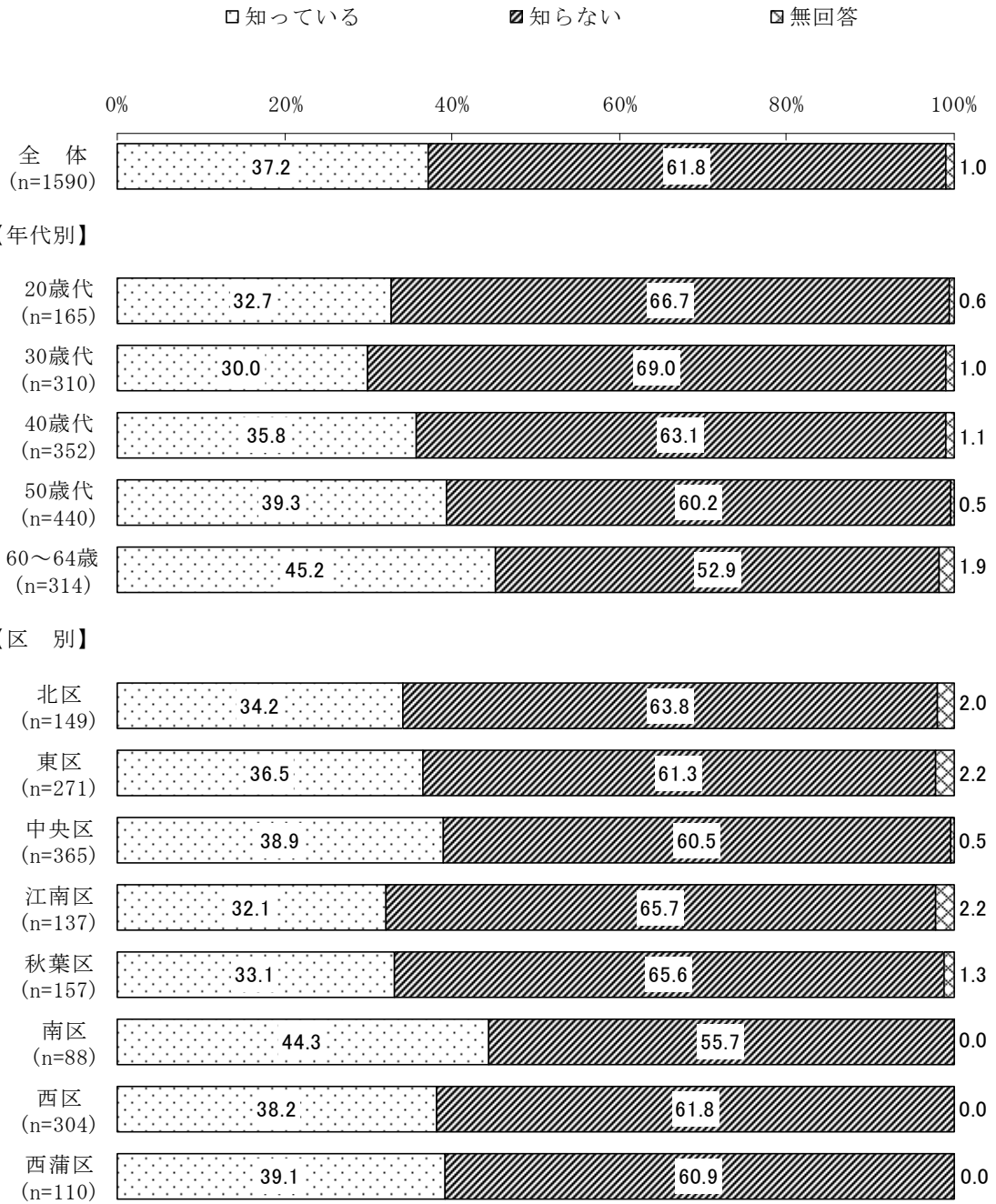
「時々は買い物などで外出することもある」という場合も「ひきこもり」に含めることについて、「知っている」は4割弱(37.2%)にとどまり、「知らない」が6割強(61.8%)で多数を占める。

#### 【年代別結果】

年代が高いほど「知っている」の回答率が高く、「知らない」が低い傾向にある。

#### 【区別結果】

いずれの区も「知らない」が多数を占める。

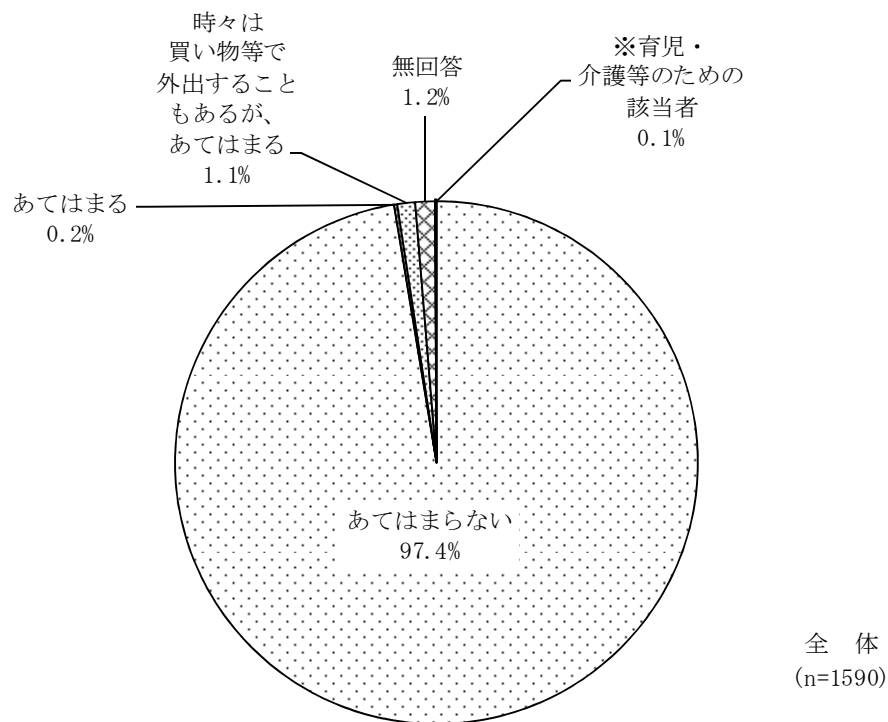


### 3. 回答者自身のひきこもり状況

#### (1) 回答者自身のひきこもり状況

問13 あなた自身が、前ページ問12(2)のひきこもりの定義「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」にあてはまりますか。

※ ただし、重度の病気やけがなどの身体的な状況により外出できない場合を除きます。(〇は1つ)



#### 【全体結果】

自分自身がひきこもりの定義に「あてはまらない」が圧倒的多数(97.4%)を占める。

「あてはまる」(0.2%)や「時々買い物等で外出することもあるが、あてはまる」(1.1%)はそれぞれきわめて少ない。

なお、自分自身がひきこもりの定義にあてはまるものの、問10で現在働いていない理由として「家族の育児や介護のため」と回答した人は1名であったが、この1名はひきこもりの該当者数から除く。

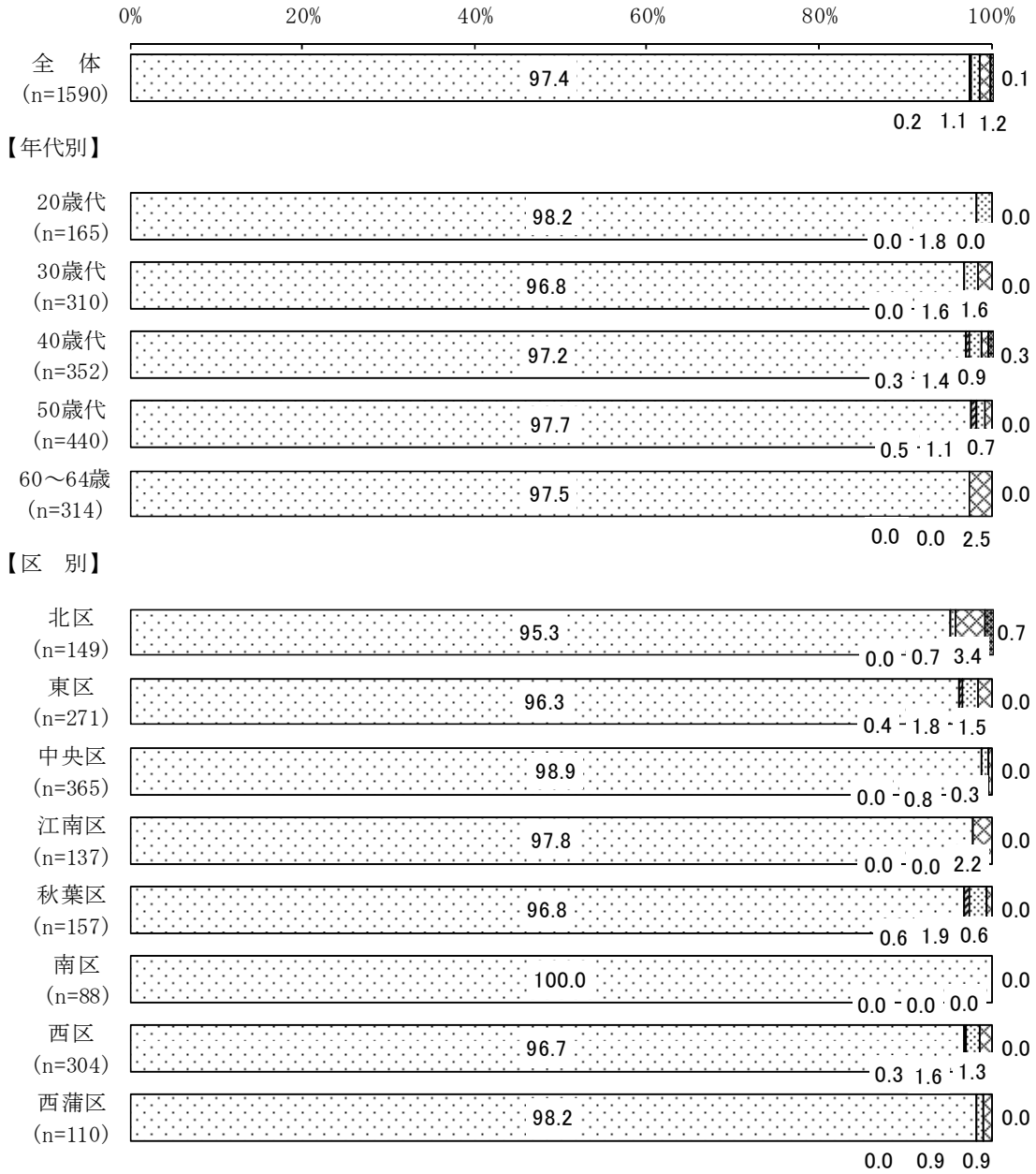
#### 【年代別結果】

年代別に特に大きな違いはみられない。

#### 【区別結果】

区別による違いは特にみられない。

- あてはまらない
- あてはまる
- 時々買い物等で外出することもありますが、あてはまる
- 無回答
- ※育児・介護等のための該当者

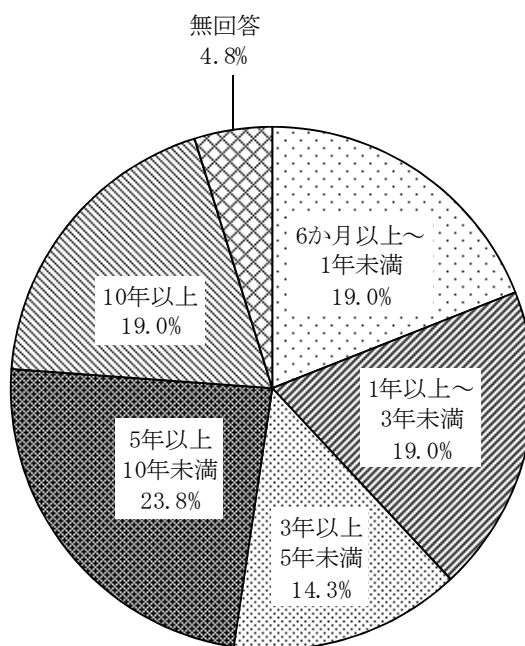




## (2) 回答者自身がひきこもり状態となってからの期間

問14 問13で「2 あてはまる」「3 ときどきは買い物等で外出することもあるが、あてはまる」に○をつけた方にお聞きします。

その状態になってから現在まで、どのくらいの期間になりますか。(○は1つ)



該当者全体  
(n=21)

### 【全体結果】

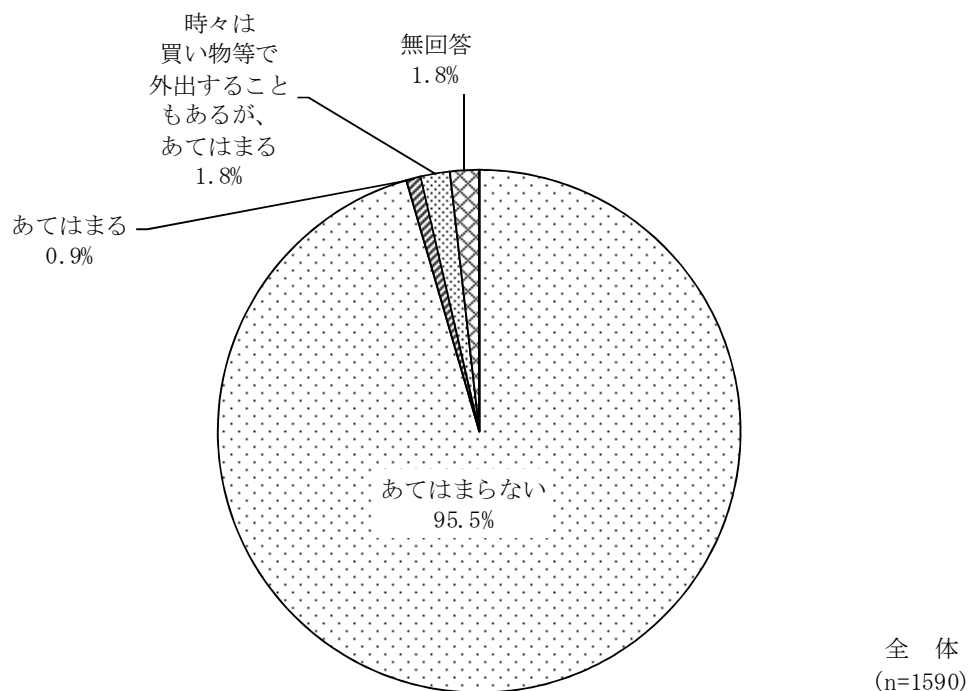
この設問の回答者数は合計21名ときわめて少ないため、分析は省略する。

## 4. 同居家族のひきこもり状況

### (1) 同居家族のひきこもり状況

問15 あなたと同居しているご家族が、問12(2)のひきこもりの定義「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」にあてはまりますか。

※ ただし、重度の病気やけがなどの身体的な状況により外出できない場合を除きます。(○は1つ)



#### 【全体結果】

同居の家族がひきこもりの定義に「あてはまらない」が圧倒的多数(95.5%)を占める。

「あてはまる」(0.9%)や「時々買い物等で外出することもあるが、あてはまる」(1.8%)はそれぞれきわめて少ない。

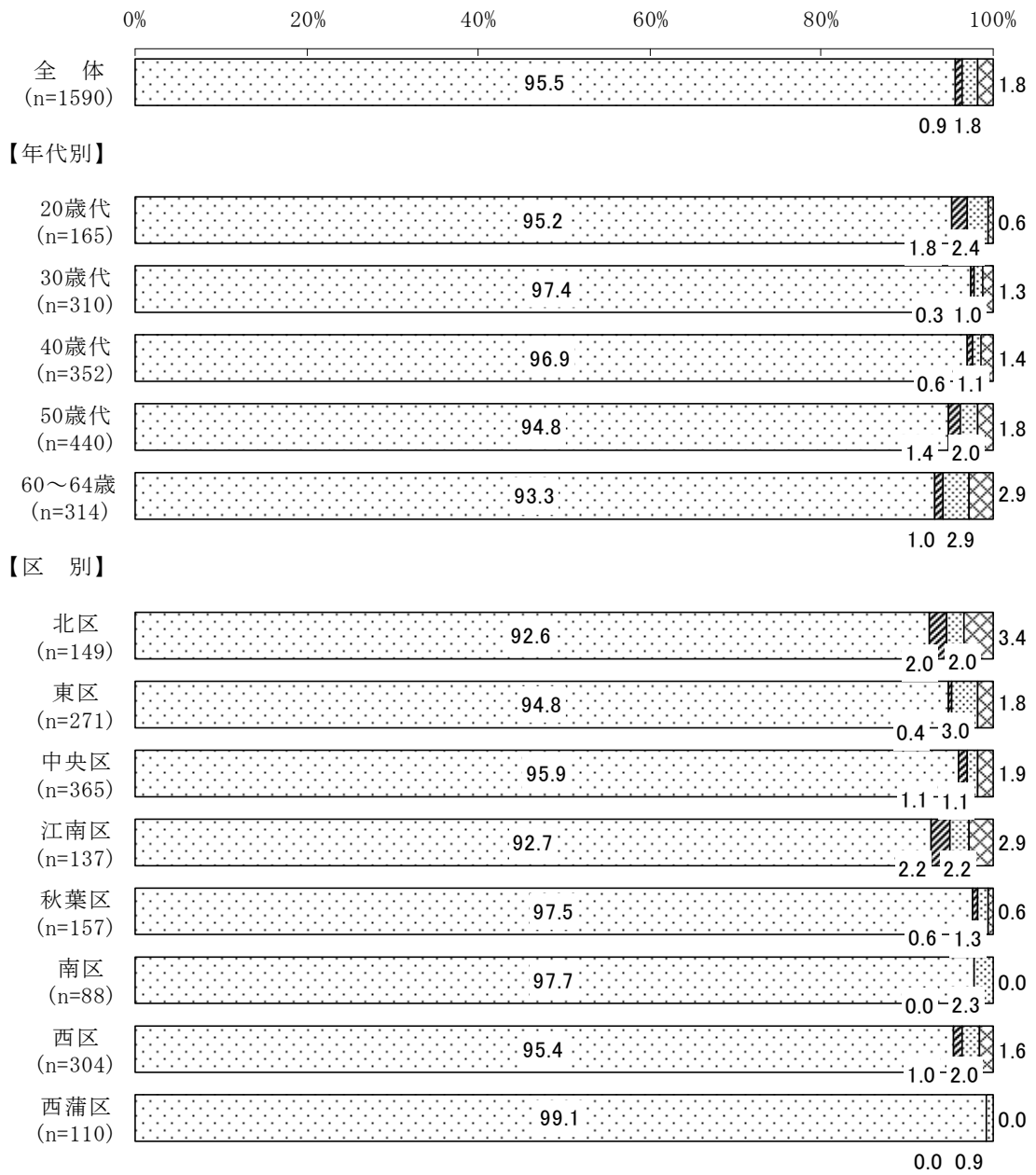
#### 【年代別結果】

年代別に特に大きな違いはみられない。

#### 【区別結果】

区別による違いは特にみられない。

- あてはまらない
- ▨ あてはまる
- ▤ 時々買い物等で外出することもありますが、あてはまる
- ▩ 無回答

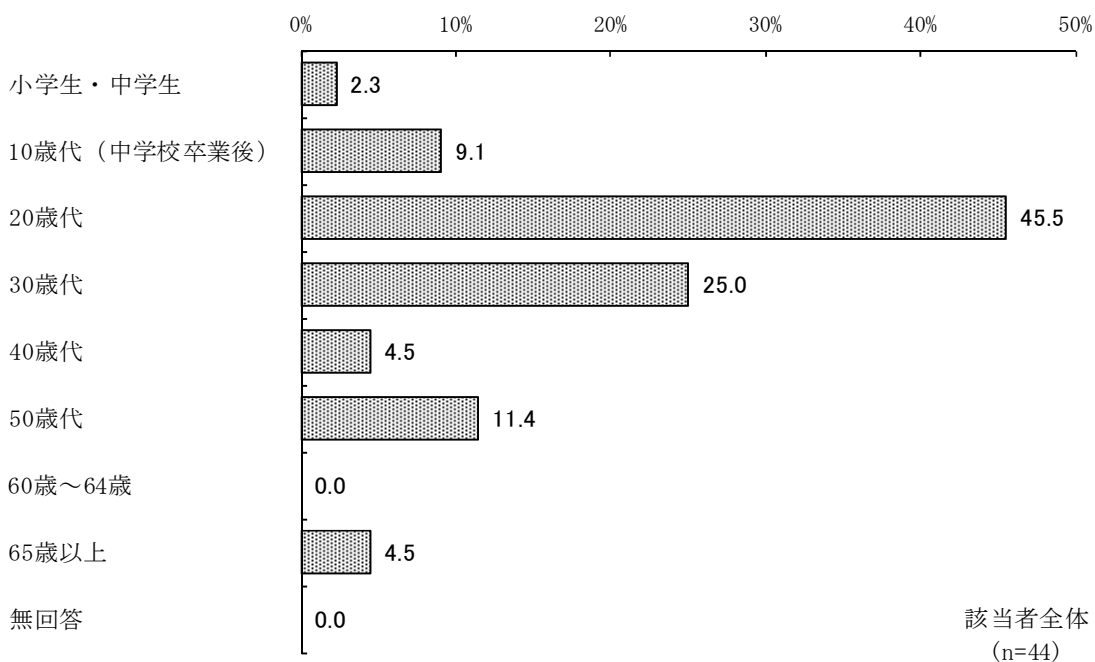


## (2) ひきこもり状態にある同居家族の現在の年齢

問16 問15で「2 あてはまる」「3 ときどきは買い物等で外出することもあるが、あてはまる」に○をつけた方にお聞きします。

そのご家族の現在の年齢についてお選びください。

(複数いらっしゃる場合、○は複数可)



### 【全体結果】

ひきこもりの定義に該当する同居の家族の年齢構成は20歳代と30歳代にほぼ集中している。「50歳代」(11.4%)、「10歳代(中学校卒業後)」(9.1%)は1割前後の比率で見られる。

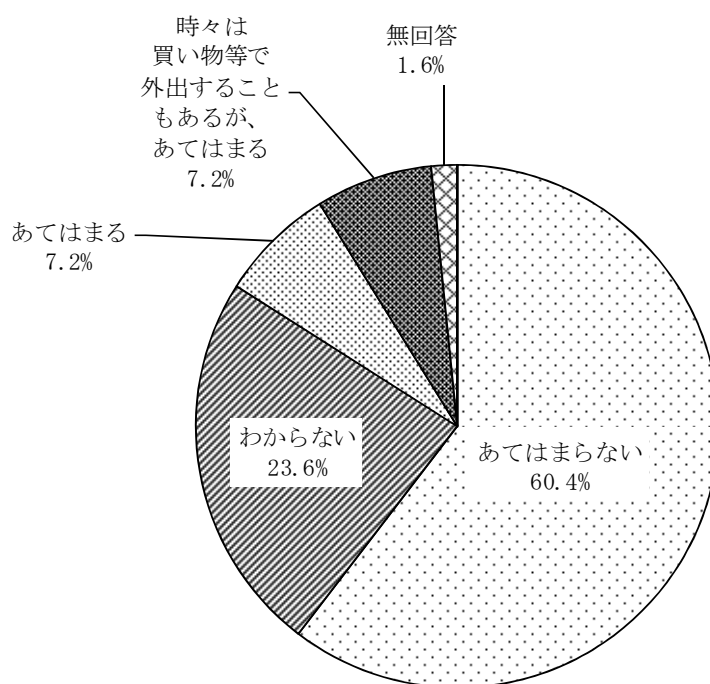
この設問の回答者数は合計44名と少数のため、属性別の分析は省略する。

## 5. 近所の人や親戚・知人のひきこもり状況

### (1) 近所の人や親戚・知人のひきこもり状況

問17 近所の人や市内の親戚・知人が、問12(2)のひきこもりの定義「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」にあてはまりますか。

※ ただし、重度の病気やけがなどの身体的な状況により外出できない場合を除きます。(○は1つ)



#### 【全体結果】

近所の人や市内の親戚・知人が、ひきこもりの定義に「あてはまらない」が6割(60.4%)と多数を占める。

一方、「あてはまる」は7.2%、「時々買い物等で外出することもあるが、あてはまる」は7.2%で、ひきこもりの定義に「あてはまる」は合計で1割強(14.4%)である。

また、「わからない」(23.6%)との回答がおおよそ4人に1人の割合で見られる。

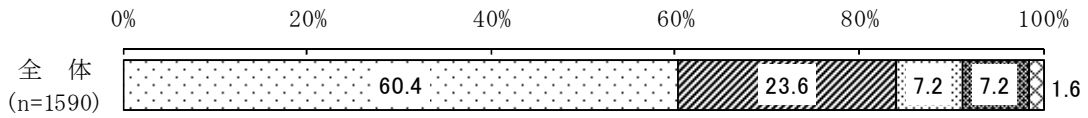
#### 【年代別結果】

年代別に特に大きな違いはみられない。

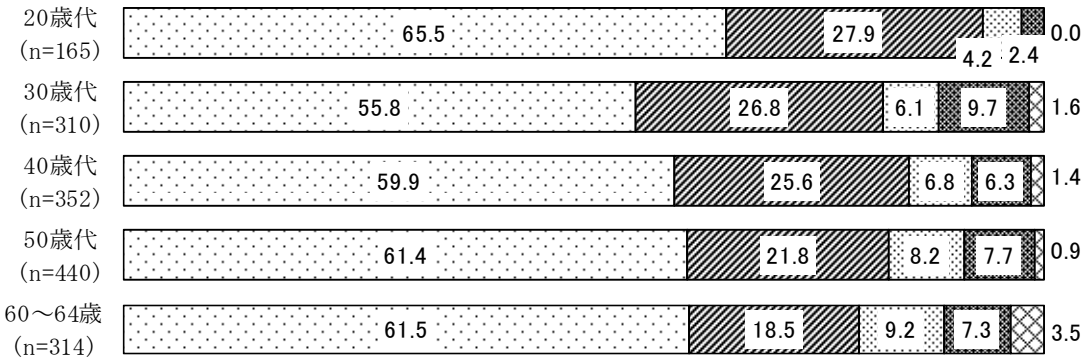
#### 【区別結果】

南区、西蒲区では他の地区に比べて「わからない」が高い。

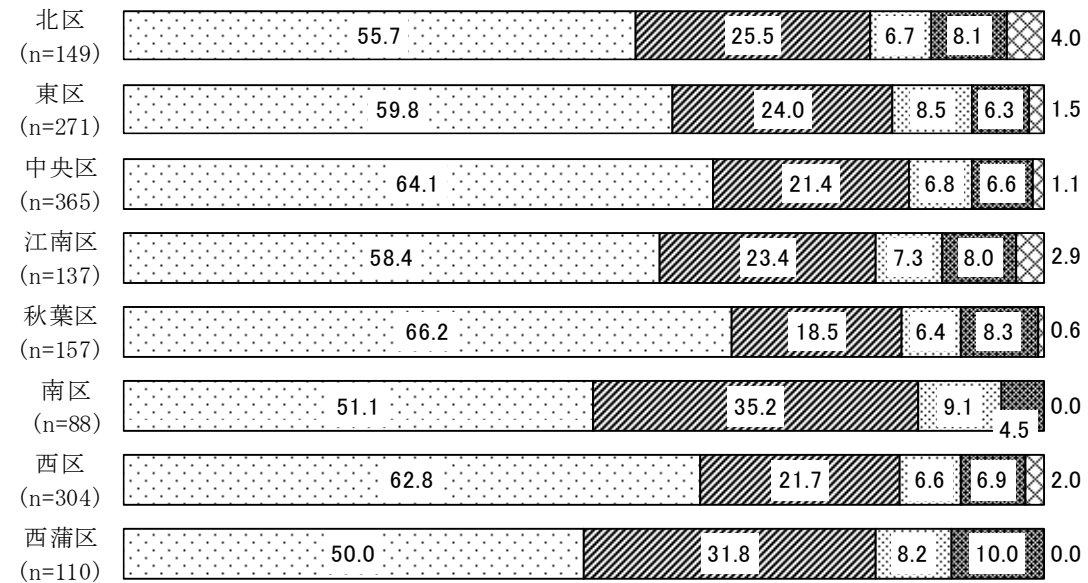
- あてはまらない
- ▨わからない
- あてはまる
- ▨時々は買い物等で外出することもあるが、あてはまる
- 無回答



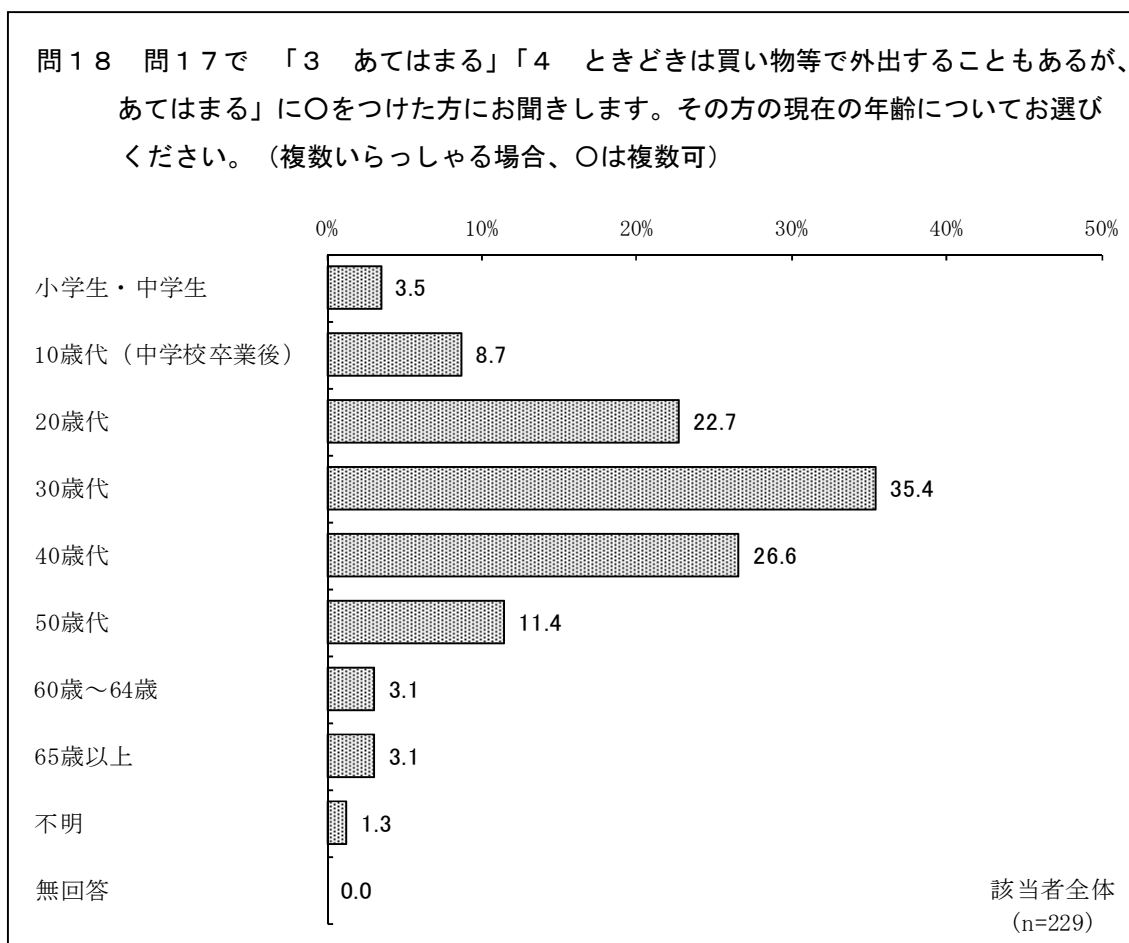
【年代別】



【区別】



## (2) ひきこもり状態にある近所の人や親戚・知人の現在の年齢



### 【全体結果】

ひきこもりの定義に該当する近所の人や親戚・知人の年齢構成は 20 歳代 (22.7%)、30 歳代 (35.4%)、40 歳代 (26.6%) が他の年代に比べて高く、これらの年代にほぼ集中している。「50 歳代」(11.4%)、「10 歳代 (中学校卒業後)」(8.7%) は 1 割前後の比率でみられる。

### 【性別結果】

30 歳代は女性の比率が高いが、他の年代では男女に差はみられない。

